

ろう重複者支援のあり方を考えるシンポジウム

—障害者総合支援法及び高崎市手話言語条例をふまえた「居場所」作り—

主催：高崎市聴覚障害者協会、社会福祉法人ゆずりは会、群馬大学教育学部障害児教育講座

共催：群馬県ろう重複児・者をもつ親の会とまとの会

後援：群馬県聴覚障害者連盟、群馬県、高崎市、群馬県中途失聴難聴者協会、障害児・者と共にくらす会

申込不要

参加無料

定員250名

駐車場あり

(駐車券を会場にお持ちください。無料処理します)

手話通訳・
PC要約筆記あり

聴覚障害の他に別の障害を併せ持つ、「ろう重複」の場合、手話などの共通のコミュニケーション手段の確保が必要です。

そのための支援として、広域に点在するろう重複者が集い、安定したコミュニケーション環境が保障された居場所作りが必要とされていますが、障害者全般のインクルーシブ化の促進が求められているため、従来の入所型施設での居場所作りには難しさが生じています。しかし、手話を保障し、言語的アイデンティティを確保すること、そのための集団の場の確保はろう重複支援に必要です。

そこで本企画においては、高崎市手話言語条例の一環として、様々な有識者を招き、ろう重複固有の問題について多角的に検討するとともに、障害者総合支援法下でのろう重複者の集団保障およびコミュニケーション環境保障のあり方について検討します。

2017年

日時
場所

11月23日 木・祝 13:00-17:00

高崎市総合保健センター2階第1会議室 群馬県高崎市高松町5-28
(高崎駅より徒歩20分)

プログラム

司会 飯島 恵子(群馬県ろう重複児・者をもつ親の会とまとの会 会長)

13:00	開会・挨拶	○堀米 泰晴(高崎市聴覚障害者協会 理事長) 他
13:20	趣旨説明	
13:30	特別報告	○秋山 仁氏(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 障害福祉専門官)
13:50	記念講演	○山口 慎一氏(ふれあいの里・どんぐり元施設長)
14:30	休憩	
14:45	パネルディスカッション	
		「全国的な動向にみる群馬県のろう重複者支援のあり方を考える」
	パネリスト	○山口 慎一氏(ふれあいの里・どんぐり元施設長)
		○木村 素子(群馬大学教育学部障害児教育講座准教授)
		○木島 照夫氏(大塚ろう学校早期相談員)
		○片倉 和彦氏(双葉会診療所院長)
	ファシリテーター	○金澤 貴之(群馬大学教育学部障害児教育講座教授)
17:00	閉会	

事務局(お問い合わせ):社会福祉法人ゆずりは会障害福祉サービス事業所エール 担当者:二神・長谷川・関口

電話:027-395-0787(月~土/9:00~17:00) FAX:027-361-0727

メール:yuzurihakai@gunma.email.ne.jp